

『だっぴ』(9月12日)の紹介

大人の考えや 価値観に刺激

青谷高で多世代交流

高校生と社会人が出会い話し合う多世代交流プログラム「高校生だっぴ」が、鳥取市青谷町青谷の青谷高で開かれた。1年生89人や地域住民、大学生など計約170人が参加。生徒は地域に暮らす大人のさまざまな考えや価値観に触れた。



「だっぴ」は若者の自己肯定感育成や社会への関心

を高める目的で、NPO法人だっぴ(岡山市)が中高生を対象に主に岡山県内で展開しているプログラム。鳥取県内の高校で行うのは初めて。

高校生と社会人、大学生でつくる23の班に分かれて実施。「自分が大人だな、子どもだなと思う時」「店

多世代の交流を楽しむ
参加者

を開くならどんな店か」などの題で意見を出し合った。意思疎通を通して生徒たちは、地域との関わりや大人の考えを学んだ。

生徒からは「一人一人違う考えを持っていることに気付く機会になった」「将来への助言ももらった」などの感想が上がった。同校は「生徒の自信を育て、目標に向かうきっかけになれば」としている。